

自然と文化科 加納小学校出前学習会 活動記録

日時	2016年11月17日(木) 10:00~12:15	天気	晴れ	担当者
場所	東大阪市東豊浦町 12-12 枚岡公園	文・写真	西村彦二	
備考	東大阪市立加納小学校：1年生 108名、先生 7名 東大阪市山地保全協議会 2名 ライオンズクラブ 2名 自然と文化科：リーダー (観察)6名、(工作)6名、スタッフ 4名			

小学生低学年の出前学習会は、自然と文化科の近年の活動としては未体験の分野であり、主催者の東大阪市山地保全協議会や、加納小学校との事前打ち合わせや下見を入念に行ってこの日を迎えた。幸い好天に恵まれて、無事ほぼ予定どおりに実施できた。実施要領は、以下のとおり。

1. スケジュール

9:30: リーダー・スタッフ集合・準備

10:00: 集合 芝生広場

挨拶: 小学校

山地保全協議会

説明: シニア自然大学校(溝部代表)

10:15: 学習会(1時限目)スタート

1~6班 : 自然観察 公園内観察コース

7~12班 : 自然工作 グリーンガーデンひらおか 研修室

11:00: 学習会の1時限目終了し、芝生広場に集合(トイレ休憩)

11:15: 学習会(2時限目)スタート

(1時限目と入替)

12:00: 学習会の2時限目終了し、芝生広場に集合

総評: シニア自然大学校(自然観察: 鶴副代表、工作: 長野副代表)

挨拶: 小学校代表

12:15: 解散 芝生広場

解散後 リーダー・スタッフ全員で後片付け

2. 学習内容

出前学習会のテーマ: 「あきをたのしもう」

自然観察会: ビンゴをしながら秋を楽しむ

クスノキを五感(匂い)で観察

ヒツキムシの戦略を学ぶ

イロハモミジの葉っぱと実を観察

ネズミモチの葉っぱに文字を書く

最後に今日の観察を振り返る

自然工作 : ドングリを使ってドングリゴマとドングリ坊やを作る

3. 実施状況

自然観察では、トウカエデの翼果飛ばしを一番楽しんでいた。クロガネモチの文字書き、クスノキの葉の匂い、ヒツキムシの体験も良かった。「秋見つけ」はドングリには感心があるが木の実や葉っぱの色にはあまり関心を示さなかった。むしろ虫探しに熱中する子が目立った。

自然工作では、「ドングリごま」のキャップの絵付けを良く考えて上手に塗っている子がいた。

ドングリによってうまく回るものと回らないものがあった。「ドングリ坊や」は殻斗にリリアンを通す作業に苦勞していた。パンチの目に目玉を入れる作業は楽しそうだった。出来上がった「ドングリ坊や」を自慢げに見せてくれた。リーダーの他にもう数名の補助員が各テーブルを巡回して手助けするともう少しスムーズにゆくとされた。

4. 反省点

- 1) 学習時間（45分）の設定は自然観察、自然工作とも短かった。特に自然観察は、メニューを減らすか、最後の「まとめ」作業の効率化を考える。また工作も「ドングリ坊や」の殻斗にリリアンを通す作業に時間を要したので事前に通しておくことを考える。
- 2) 中間の移動・引継ぎの時間（15分）をもう少し（20分程度）長くする。
- 3) ビンゴカードに貼ったシールを剥がしやすいよう工夫する。
- 4) 生徒の班別シールは帽子(白)の庇の上に貼る。
- 5) 生徒の感想は、自然観察だけでなく、工作の感想も聞きたい。
- 6) 学校側に事前にトイレを済ませておくよう要請する。

